

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけつと高松教室		
公表日	2025年	2月	20日
実施日	令和7年	1月	6日
	利用児童数	41	回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1			・十分確保されている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	4	1	2	・一人につき1人の先生がついていて安心できる。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		1	・文字とイラストがついていて、子供でも見てわかりやすく工夫されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1			・きれいで温かみのある空間。清潔にしている。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	1		・専門性は分からないが理解してくれている。こ	・こだわりの部分を職員間で共通認識をし、適切な対応をしていきたい。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1			・いいプログラムだと思う。	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1			・自宅や幼稚園での様子の相談内容を反映してくれた。	
	8 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供」や「支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24				・設定されていると思う。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1			・上達している。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		2	・ハスル、粘土、お絵描き、ブロックなど教材がいろいろある。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	3	9	6		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				・わかりやすく説明してくれた。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	6	6		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1			・できたことや課題を伝えてくれるので、成長がよくわかり自宅での子どもへの接し方も考えやすい。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	4			・アドバイスをくれます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	9	8	・保護者同士の交流の場があるとありがたい。	・保護者同士の交流の場を作るよう検討します。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16		3	5	・迅速に対応してくれます。	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	2	12		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			1			
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		5			

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1	15		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23			1	・楽しく通えている。安心感をもって通えている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23			1	・お迎えに行く楽しそうに遊んでいます。駐車場につくと早くおりたいと指示される。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				・大変満足している。優しい先生ばかりで感謝している。	

事業所における自己評価結果

公表		2025/2/20				
事業所名		てらびあぼけっと高松教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	1人につき1部屋ある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4		職員を増員するべき。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	情報は掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		子どもの活動に合わせて、衝立で空間を変えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別の部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3		振り返りがあまりできていない。振り返りの時間を作ることが必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	終礼の時間で共有し、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	その都度話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4		時間が取れず、研修になかなか行けていないため、研修に参加できる時間を作りたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		アセスメントを行い、課題を分析したうえで作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画書を見て共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないように、様々な教材を準備している。	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別の時間、集団の時間と分けてある。	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼で確認を行っている。	
20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終礼で共有している。		
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録をつけて、改善に繋げている。	もう少し詳しく記録をつけていく。	
22	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングを行うことで、支援計画の見直しを行っている。		
23						

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	毎回児発管が参加している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要の際は保育・幼稚園の先生と連携できている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3		小学校との情報共有はできていないため、必要に応じて行っていきたい。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	フィードバック時に毎回お話をすることで共通理解を図っている。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		研修や情報提供の情報を探していきたい。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2		
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	普段のフィードバックの時間やモニタリングの際などで、意向を聞く機会を作っている。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	1	毎回支援計画を見せながら、説明を行っている。		
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	普段から相談に応じられる環境を作り、支援に努めている。		
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	1	3		交流を求めている方もいらっしゃるため、保護者の交流できる機会を作れるように努力したい。	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1			
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		HPのをあまり活用できていない為、記載の回数を増やしていきたい。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1	個人情報が書かれているものはすべてシュレッダーを使い処分している。		
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1			
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3			
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		年に2回のため、全員に周知することは難しい。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	3		定期的には行っていない為、定期的に行っていきたい。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	契約する際に確認している。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		対応方法を職員間で共有している。		

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理には十分注意を図っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	ヒヤリハットがあった際は、毎回話し合いを行い再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	研修の時間を確保している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけつと高松教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アットホームな空間	・子どもとの距離感を大切にしている。楽しく通えるように普段から笑顔で楽しい雰囲気作りを意識している。	・子どもが興味ある玩具を増やす。
2		・保護者との距離感を大切にしている。通いたいと思われるような雰囲気作りを行い、すぐ相談できる環境を作っている。	・研修を受ける機会を増やし、適切な助言ができるようにしていきたい。
3	・フィードバック時の丁寧な対応。	・子どもの様子を詳しく、使用したものを使ったりしながら説明している。	・余裕がない際は、少し説明不足の時もある際、時間や環境に余裕を作れるように努力していきたい。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門性の部分が欠けている。	・研修を受ける時間がなかなかとることができないため、研修を受けられていない。	・研修を受けられるように、人員を増やし、研修を受けられる機会を増やしていきたい。
2	・連携不足の部分がある。	・職員の休みなどで伝わっていないことがある。	・休みだった人にも、次の日に絶対忘れず情報共有を行う。
3	・職員の入れ替わりが激しい。	・未経験者の人が療育の難しさから続かず、すぐにやめてしまう。	・未経験者の人が来られた際に、1からわかりやすく指導できる環境を作る。